

### 第3回境港市みんなでまちづくり推進会議会議録

日時：平成25年8月9日(金) 18:30~20:30

場所：中央公民館

#### 日程

1. 開会
2. 平成25年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. その他
4. 閉会

#### 出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇京子  
土井哲雄 徳尾勝 水田浩司 渡部敏樹

#### 欠席者（敬称略）

門脇紀文 松本幸永

#### <開会>

##### （事務局）

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。第2回目の募集を行いましたところ、新規申請団体1団体を含む5団体から申請がありました。1回目の募集と合わせますと予算額を上回る申請額となり、広報がうまく行えたものと考えております。本来ですと予算の範囲内で採択等を決めないといけません。今回については全団体採択となった場合には、市の方で対応したいと考えております。事前をお願いいたしました書類審査を取りまとめたものをお配りしておりますので、ご確認ください。この後行われますプレゼンテーションを受け、評価の変更がございましたら変更していただき、再度集計したものを基に審査と総評を行おうと考えておりますのでよろしくお願いいたします。審査は審査員をみんなでまちづくり推進委員のなかから3名選出し、地域振興課長と合わせて4名で審査を行います。推進委員から選出する審査員は事前に相談をして決定しました。

本日はプレゼンテーションを5団体にしてもらいます。新規設立等事業が1件、一般事業継続が3件、緑化事業の新規が1件となっております。1団体15分間で、まず最初に3分間で申請概要説明をしていただき、残りの12分間で審査員に質疑をしていただきます。その間審査員以外の方には傍聴していただきます。

プレゼン終了後の20:00から皆さんで討議をいたします。審査表などを参考に一件ずつ採択、不採択、修正の確認及び決定をしていただきます。各事業とも30点満点で平均点18点は超えております。

それでは、プレゼンに移ります。

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1 団体目 水木しげるロードの安心・安全を守る会

・申請事業 水木しげるロードの安心・安全を守る会

・事業内容 会員、市職員、警察職員と連携し、水木しげるロード及びその周辺において多発する夜間の事件を抑止するため夜間パトロールを行う。

(委員)

いろんな自治会や振興会で構成されていますが、人員要請はできそうですか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

我々にとって生活の場であり、仕事の場でもあります。自治会と商店会のメンバーは重なっているところも多く、そこを中心に行っています。

自分たちのまちは自分たちでということで声掛けをしています。高齢化も進んでおり、できることをできるだけという形でお願いしていきたいです。

(委員)

若い人が加わるといいですね。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

どちらかの社員さんに残ってもらう状況が作れるといいのですが、難しいですね。

(委員)

犯行は深夜に起こりますよね。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

犯人を捕まえるという目的ではなくあくまで抑止です。防犯カメラのおかげで犯人逮捕に至ることもあり、少しずつですが効果がでてきていると感じています。安心して生活するとなると昼夜問わず何か対策が必要だと思います。

(委員)

予算は5万円とありますが、どれくらいの会費でどのくらいの会員数がいますか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

自治会や商店会から年間1万円ずつ補助してもらっています。

(委員)

様子は聞いておりました。夜間パトロールはいつされていますか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

週2回、水曜日と土曜日に行っています。午後7時に駅前交番に集合し、水曜日は本町と西本町、土曜日は松ヶ枝町の方々にお願いしています。我々は毎回参加しており、出れるときは市役所の地域振興課長にも来てもらっています。また、警察官が参加できるときは先頭にたってもらっています。

夏休みは時間をずらして長い距離パトロールしてみようかという計画もあります。

(委員)

何かあった時の手順というか、連絡網はありますか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

警察官がいないときは 110 番通報することになっています。だれかが何か見たらすぐ通報できるように複数でのパトロールを行っています。これは立ち上げの時から取り決めをしておりました。

(委員)

活動されてどのくらいになりますか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

一昨年の暮れからですので、丸一年半くらいです。

(地域振興課長)

継続されることが一番ですので、無理のない程度にがんばっていただけたらと思います。

◇2 団体目 竹内マツ植樹隊

- ・申請事業 竹内西緑地へのマツ苗植栽及び管理
- ・事業内容 荒廃した竹内西緑地に松林を復活させるためにマツ苗を植栽する。

(委員)

私たちもウィンドサーフィンの基地近くのマツ林で草刈りなどをしているのですが、竹内は範囲に入っていなかったんですか。

(竹内マツ植樹隊)

範囲に入っていたかどうかは分からないのですが、西部総合事務所と境港管理組合で管轄が違います。境港に入った時点で管理組合になるのですが、何もしないので県がしびれを切らし範囲を広げたようです。

(委員)

鳥取力創造補助金は決まったのですか。

(竹内マツ植樹隊)

ええ、決まりました。マツは夏に植えると枯れてしまうものですから、10 月頃から開始しようと思っています。

(委員)

モノを植えるので大変な事業になると思いますが、根気強くやっていただけたらと思います。草刈りもあるでしょうし。

(竹内マツ植樹隊)

草を刈らないとどこに苗を植えたのか分からなくなりますので、我々は月に 1 回は草刈りをしようと計画しています。

(委員)

会員 24 名が苗を植えられるのですか。

(竹内マツ植樹隊)

植えるときは町内の子ども会や自治会を呼び、イベントとして行おうと思っています。

(委員)

見積りにある「植樹一式三万円」というのはどのような費用ですか。

(竹内マツ植樹隊)

古いマツの根など埋まっているものですから、機械を入れて整地しないとイケませんので、その費用です。

(委員)

マツはどのくらいのスピードで成長するのですか。

(竹内マツ植樹隊)

最初の 1, 2 年はなかなか成長しないのですが、3 年目からは年に 1 m くらい伸びます。そのままずっと伸びる訳ではないですけども。

(委員)

防風、防砂のために海岸沿いにマツを植えられていますが、植物学者の先生の本を読むと、針葉樹は根が下に伸び、広葉樹は横に広がっていくようで、防災には広葉樹の方がいいと書いてありました。

(竹内マツ植樹隊)

根が横に広がると風に弱いのではと思います。防砂、防風の場合は常緑でないといけないです。せっかく白砂青松が続いているのに、境港市に入った途端に雑木林になるのが好きではないのです。あと、マツは潮風に強いということで海岸沿いに植わっています。

(委員)

ぜひ子どもたちといっしょにやって、マツの成長を見せてあげてほしいです。

(竹内マツ植樹隊)

我々はマツの成長を見届けることはないかもしれませんが、子どもたちに残したいというのが強い思いです。

(委員)

11 月からの植樹で、人数も地域の方総動員で大変かと思いますががんばってください。私も草刈りはしていますが、植樹はしたことないので手伝えたら参加したいと思います。

#### ◇3 団体目 高齢社会をよくする会 in 境港

- ・申請事業 iPS 細胞の誕生と再生医療の未来
- ・事業内容 市民会館大会議室もしくは保健相談センターで市民（特に認知症、難病、がん患者とその家族）を対象に講演会、パネルディスカッションを行う。  
講師 鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門 汐田剛史教授

(委員)

iPS 細胞は今後の応用が注目され、関心のある話題だと思います。それをテーマに講演会をされるようで、いいことだと思います。一人でも多く参加されるような PR を考えていただけたらと思います。

(委員)

市民会館大会議室もしくは保健相談センターを使用されるようですし、参加者を多くされてもいいのではないかと思います。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

私の希望としてはもう少し少なくてもいいかとも思っています。それは、みなさんから意見を出してもらって、意見交換が出来るような講演会にしたいと思っていますので。

(委員)

せっかく、鳥大の先生も呼ばれますし、一人でも多く参加がいいかなと思います。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

境の医師会と話をし、パネルディスカッションに医師会の先生に出てもらって地域の医療のこととか質疑の中で話がでてくればなと思っています。

パネラーとしては高齢社会をよくする会から私と、医師会の先生、保健師それと一般の方から一人と講師の先生の 5 名で 30 分くらいざっくばらんな話をすれば、質問もし易いんじゃないかなと思います。

(委員)

メンバーはどういった年齢の方が多いですか。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

私が一番若いくらいですね。

(委員)

若い人も巻き込んで活動して行ってほしいですね。多くの人に知っていただける機会を作ってもらえたらいいですね。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

若い人と協力していく礎となるような会になればいいなと思います。

(委員)

この講演会は iPS 細胞とはどういうものを勉強する会と考えたらいいですか。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

そうですね。今後 iPS 細胞が再生医療でどうやって関わっていくかや、将来的にこういうことが可能になるなど希望をもってもらえたらと思います。また、今病気でない方も将来こういう治療ができるようになって知って貰えたらと思います。

(委員)

パネルディスカッションも含めるとコーディネーターがしっかりしないと 1 時間半では難しいんじゃないでしょうか。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

コーディネーターには元アナウンサーを予定しています。

(委員)

一人の先生の話の聞くだけならいいでしょうが、盛りだくさんで進行が大変でしょうねという印象を受けました。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

わたしはそう思いません。話を聞きっぱなしでは、ああそうかで終わってしまいます。最初は質問だけを考えていたのですが、会での話の中で分かりやすく話をしてもらっても難しく何を質問していいか分からなくなるんではという意見がでました。それならパネルディスカッションをして感想なんかを聞いてもらい、それを基に質問をしてもらいましょうかとなりました。コーディネーターとよく相談していきたいと思います。

(委員)

印刷費が支出の半分以上を占めますが、他のものに使ったらどうかと思いました。

(高齢社会をよくする会 in 境港)

レジュメについては変動があると思いますが、ポスターについては先生と相談しながら100枚は作りたいと思っています。それに費用がかかります。

(地域振興課長)

患者さんや家族にとっていい会にさせていただけたらと思います。

#### ◇4 団体目 一般社団法人 境港青年会議所

- ・申請事業 みなとフェスタ in 夢みなと緑地公園
- ・事業内容 平成 25 年 9 月 16 日に夢みなと緑地公園にて、紅ずわいがに等の水産物や国際クルーズ船を題材に「みなとまち境港」の魅力や未来予想図を感じてもらうためのイベントを開催する。

(委員)

これまでいろいろな青年会議所からの申請書を見ましたが、今回はすごく充実したイベントになるんじゃないかと、また将来的に発展していく可能性のあるイベントになると思いました。

食のみやこの補助金は決まったのですか。

(境港青年会議所)

はい。

(委員)

いま、緑地公園はあまり活用されていなく、寂しい状況です。貨客船ターミナルもできる予定ですし、もう一度みんなで考える場所になればいいなと思っています。

(委員)

おもしろい企画だと思います。地図を付けてほしかったのですが、緑地公園のどこの使用

を考えていますか。

(境港青年会議所)

おさかなセンター側です。トイレとタワーのような建造物の真ん中でやれたらと思っています。

(委員)

埋め立ての南側ですか。

(境港青年会議所)

そうですね。埋め立ての南側の東側です。ウッドデッキのあるあたりです。

(委員)

港湾が貿易などだけに使われがちなので、市民の港を取り戻そうという趣旨に賛同します。まだまだ、中野公園や水産試験場の前の公園など使用されていない場所があります。まずはこの事業をされて、港というテーマで継続していってほしいと感じました。

(委員)

天候が気になりますね。雨が降っても出来るゾーンもあるようですが。

(境港青年会議所)

雨の対策としては夢みなとタワーの4階特別展示室を仮押さえしています。タワーから見たり、講座を行うことはできます。

(地域振興課長)

毎年色々なイベントを企画してもらってありがたいと思っています。

#### ◇5 団体目 境港親と子どもの劇場

- ・申請事業 境港親と子どもの劇場創立20周年記念事業公演 vol.6

「Witty Look のプティ・ブティーズ」

- ・事業内容 平成26年3月21日に幸神町体育館にて、エンターテイナーをよび、公演を実施。会員制の枠を外し、一般参加も呼び掛ける。

(委員)

規約を拝見しましたところ、通常観賞会ですと会費の3か月分と入会金を払って一般の人でも観劇できる。今回は20周年ということもあり2,000円で見れるということですね。

(境港親と子どもの劇場)

はい。

(委員)

会員は会費を払っているので経費はかからず、20周年イベントとして通常より一般のチケット代を安くしたということで意味を持たせていると思うが、こういう申請は減多になく、イベントの場合はほとんど無料か、自己資金から出すが足りないので補助してほしいというものです。会員は会費を払っているからお金はいらぬ、一般の人はお金がかかります

というのは何か不自然です。通常の活動と同じようなことで少し安いだけじゃないか。通常の活動に補助をするようなものだと感じました。

今後もし同じようなことをされる場合は、きちんと分けけてイベントの時は公平性をもたせてほしいなと思います。

これは中国ブロックが一つになっているんですか。

(境港親と子どもの劇場)

中四国が一つになってます。

(委員)

大体同じ規約でやられてるんですね。なので会としての体質だと思うんですが、変えられるのならイベントの時くらいは考えられたらいいなと思います。

予算書を見ると繰越金もある程度確保されているようですし、ほかの申請団体とはちがう経営状態です。他の団体はほとんどぎりぎりの状態できてるんですね。もうちょっと金額を考えていただき、幅広い人に参加してもらって、一度体験できるような形にもっていけばイベントとしての意味が大きくなるんじゃないかなと思います。

(境港親と子どもの劇場)

書き方で分かりにくかったかもしれませんが、私たちは毎月会費を払い、積み立てています。この3月の公演の前は11月を予定してますので12月、1月、2月、3月の4か月分を貯めてこの公演を見るということになります。なので会員が無料であるとは思っていません。

(委員)

その辺の解釈のちがいで、普段の活動ならばそれでいいんです。普段の活動とイベントが同じになってしまうので、区別した方がいいじゃないですかということです。

イベントに対して補助金を出すので、普段の活動をしているので会員はチケットを買わなくていいという考えはイベントに当たらない。会員も一般もほとんど負担は同じだよというイベントにしてほしいです。そうしないと通常の活動に補助を出すという形になりかねないんですね。今回の申請はイベントのための補助なので。

(委員)

親と子どもの劇場というのは日本全国にありますよね。なので運営の仕方が一律だと思うんです。境港だけこういう風にしましょうというのは出来にくいんじゃないかと思います。会員制で組織の形がちがうので難しいところはありますよね。

(境港親と子どもの劇場)

本当はみなさんに無料で見ていただけたら補助金の意味があると思うんですね。補助が1/2なので、ありえないですが全額補助していただければいいのならできるでしょうけど。

(委員)

無料でなくていいですよ。一律で。

合計150組の参加予定で、事業収入はなんで70組分だけ？ってなってしまうんです。通常の会ならそれでいいのですが、市から出る助成金としては抵抗があるんじゃないかなと。

(境港親と子どもの劇場)

書き方がまずかったかもしれません。私たちもそのチケットを買っていることになるので、私たちも含め 150 組×何円としておけばよかったですね。

(委員)

その方がすんなりと助成できると思います。事業の趣旨はいいことなので。

(委員)

見る側としては 2,000 円は安いな、お得だなと思うんですがね。

様子はいつも見ているので、頑張ってください。

(地域振興課長)

自己負担金は会から出るお金ですよ。会からほかにお金は出ないんですか。

(境港親と子どもの劇場)

出ないです。これが会員がこの公演を見るために積み立てたお金となります。

(地域振興課長)

委員さんも言われましたが、一般参加者の負担額と会員の負担額のバランスが悪いと思います。やはり一般と会員が同じような負担割合になるべきじゃないかと。そのあたりをこの後相談させてもらいたいと思います。

(境港親と子どもの劇場)

そういう風にするとしたらチケット代をもう少し下げてということになりますかね。

(地域振興課長)

通常の皆さんの活動でしたらご自由にさせていただいていいのですが、市の補助金がでるので一般、会員は平等でないといけないというのが私の意見です。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。プレゼンテーションを聞き、いろいろと質疑させてもらいましたが、みなさんどのような感想をもたれましたでしょうか。

それでは 1 件 1 件討議をしたいと思います。最初に「水木しげるロードの安心・安全を守る会」から意見ををお願いします。

自己負担金は会費というよりか協力金という形で各自治会から得て活動されているとのことでした。

(委員)

今年度の収支予算を見るとユニフォーム代として 90,000 円上がっています。今回の自己負担金が 49,000 円なので、自己負担金を上乘せして防犯ブザーなど警察官がいないときのために買ってもらうのもいいんじゃないでしょうか。

(会長)

補助金の額を上げることはできます。けれども今回の申請で補助金の予算を超えてしまってますので申請額での判断にします。

昨年までは予算が余ってしまっていたが、今年度は2回目で予算を超えてしまいました。申請団体の事業内容も充実したものが出されるようになればいいことですよね。そうになったら、プレゼンテーションの時もっと突っ込んだ質問をしていかないといけなくなります。不採択や減額をしないとイケない可能性もでてきました。シビアな書類審査をして、審査会に臨んでいただかないといけません。ただ、これはうれしいことだと思います。

(委員)

パトロールは継続してやっていくことが一番大事だと思います。その中で会員を一人でも二人でも増やし、余裕をもって活動できるようにしていただきたいですね。

<採択>

(会長)

続いて、竹内マツ植樹隊です。

(委員)

この取り組みについては非常に賛同しております。できれば植樹の手伝いも出来たらと思っています。

緑の募金などもありますし、そういうところとの連携も必要になるかなと思います。連携出来たら充実した活動が出来るんじゃないでしょうか。今年は鳥取力の補助金ももらえるみたいですが、将来的に考えれば検討してみてもいいのではないかと思います。

(委員)

境港と米子の行き来には431を通ることが多いですし、この事業は公のものに近いですね。

(事務局)

緑の募金の件ですが、6月で締切が来ておりますので来年度こういうものもあるということとは伝えようと思います。

(委員)

将来的に緑の募金も兼ね合わせてやっていったほうがいいなと思います。活動費を得てマツ林が復活できたらと思っています。

(委員)

緑の募金は7校区のうち申請があったのが3校区だけだったようです。

(委員)

緑の募金と市民活動補助金の併用はできるんですか。

(事務局)

交付元を調べてみます。

(会長)

書類審査でも一番評価が高かったですし、採択でいいでしょうか。

<採択>

(会長)

続きまして、高齢社会をよくする会です。がんばって色々なことをされています。

(委員)

内容が非常にタイムリーでいいと思います。

(会長)

タイムリーで興味のある話ですよね。あとは広報の仕方でも人集めをしてもらえたらと思います。

ほとんどが高齢者の方で、若い人に高齢社会をよくすることを考えてもらいたいので、そういう点では iPS 細胞は多少は若い人も興味のあることだと思いますし、タイムリーでいい講演になるかもしれませんね。

(委員)

境港の総合病院である済生会などの参加があってもいいんじゃないかなと思います。

(委員)

補助金が出れば、医師会に話をしてみると言われていましたね。

(会長)

質疑の時にありましたが、時間が短いんですよね。まあ、コーディネーターと相談すると行ってましたし、おまかせしてみましよう。

<採択>

(会長)

次は、境港青年会議所です。

(委員)

去年よりいいんじゃないでしょうか。

(会長)

これが定着していけば大きな活動になると思います。毎年役員が変わるのが問題で、ちゃんと引継ぎできればいいのですが。

緑地公園が活用されていないので、今後ターミナルなどいろんなものが出来てくるので、このようなイベントと合わせて、機運を高めていけばいいんじゃないかと思っております。

<採択>

(会長)

最後に境港親と子どもの劇場です。

(委員)

同じ参加者のうちお金をとる、とらないがあるのは言われてみればおかしいかなと思います。

(会長)

活動自体はいい活動なんです。全国組織の活動なのでほとんど同じようなことをしていると思うんです。週一回の読み聞かせやわらべうたも月一回しているようですが、独自性というのは薄いんじゃないかなと思います。

(委員)

会員数が少ないから運営しにくいんでしょうね。

(会長)

一般の方が参加しようと思うと 3,400 円払わないと参加できない、全国的な規約なんでもうしようもないんだけども内容とマッチしていないところがあるように感じます。今回の申請もそれとごっちゃになって提出されている。会費を払っているから今回は 1,000 円でいいというのは通常の活動であって、イベントはイベントとして計画してくださいということです。組織的なことはあるかもしれませんが、今後境港市に申請してもらうときは会員、一般平等なものとしていただきたいです。

(委員)

この事業に関して、会員からもチケット代をとると、事業収入になりますよね。そうすると補助額はもっと減るんですよ。

(委員)

会員のチケット代は自己負担金の中に入れてしまえばいいんじゃないですか。

(委員)

会員は毎月の会費と入会金を払って、それがプールされて、会の活動費になっていますよね。ですから会員のチケット代は会のお金で補助していると考えれば、一般の人が 2,000 円払うのは別に問題ないと思うのですが。

(会長)

規約の中で会員以外の方が観劇する時は 3,400 円払うという規定がありますよね。今回 20 周年記念ということで少し安くしているというのですが、規定の金額を減らしたただけだから通常の活動と一緒にできる可能性があるんです。だからイベントはイベントとして申請してほしいということです。それも一回のみの単独のイベントで参加者の公平性を保ってほしい。会費があるからいいじゃなくて、イベントは幅広く市民がなるべく平等で行ってほしいというのが、補助金の趣旨であるわけです。

(地域振興課長)

補助金が会員にしかあたってないんです。本来会員は 16 万円払わないといけないんですが、8 万円で済んでいる。一般参加者に補助金が全くあたっていません。

(会長)

一般会員が全額払って、会員は補助があたっている。これはちょっと不公平でないかと。単独のイベントではおかしいんでないかと考える訳です。

(地域振興課長)

本当は会員さん分も事業収入に入れてほしいところで、今回は見送るとしても、自己負担金は会員、一般が同じくらいの負担になるようにしてもらわないといけないかと思えます。

(委員)

それは交付要綱のどこから読み取れますか。

(地域振興課長)

そういうことは書いていませんが、補助金の趣旨として会員、一般が平等なのは当然で、会員にだけ補助金があたるというのは事業としておかしいんじゃないかと思えます。

(委員)

公平性からみたらそうかもしてませんが、交付要綱に定めがなければ読み取れないと思えます。

(会長)

今回不採択にするというわけではなく、今後また同じことが起きてくるのではないかという事です。

(委員)

だとしたら、交付要綱に何らかの定めをしておく必要があるのではないのでしょうか。

(地域振興課長)

よそでもそこまで定めがあるところはないと思えます。補助金の事業であれば参加者は公平でないといけないというのは当然のことです。それは判断すればよいと思えます。

この団体は過去 3 回、同じような内容で申請があり、事務局ではおかしいんじゃないかという意見がありました。しかし、3 回のうちに会の基盤を作ってもらって会員数が増えていけばいいかなということで、それらの申請については目をつむっていたところです。今回については会員、一般の負担割合が同じになれば不採択にしたいと思っています。団体と相談してそのような調整がつけば認めますので、事務局に一任していただけたらと思えます。

(委員)

以前からあったんですね。

(委員)

内容的にはいいことをされているので、団体側が納得されるのであれば一任でよいのではないのでしょうか。

<事務局預かり>

<その他>

(事務局)

前回の審査会の時、委員の方から旅費規定について意見がでました。他の自治体を調べましたところ、そこまで設定しているところはありませんでした。「実費程度」と記述があるところもございましたが、額の規定まではしていません。また、県の方に確認しましたが、額等の指定はしておりません。ただ、費用が考えられる額より多い場合は審査点が低くなり、審査会で判断しているとうことです。今後境港市としても基準を設けず、審査会で判断いただけたらと思っていますので、よろしく願いいたします。

<閉会>